

1学期が無事終わりました



新型コロナウイルスの影響で始業が遅れたものの、無事開校し、子どもたちの元気な声が響き渡るようになりました。

そして、少ない児童生徒数ながらも感染防止に努め、無事1学期を終えることができました。

開校前を振り返ると、「ロイロノート・スクール」を用いた課題配信の対応から始まりました。私たちは、日本や広州にいる、登校できない児童生徒のために各学年の実態に応じた課題を作成・配信し、現在も、在籍する児童生徒のために、授業の板書や課題配信を続けています。

今は、子どもたちが登校できているので、私たちも目の前の子どもたちにしっかり向き合い授業が行えることに幸せを感じています。

しかし、未だ日本にとどまり、広州に戻ることができない児童生徒が多くいるのも事実です。今は子どもたちが一日も早く広州に戻り、クラスメイトと再会できる日

を心待ちにしています。

さて、7月3日、小学部5年生の社会科「あたたかい土地の暮らし」の授業が行われました。沖縄の伝統文化についての学習だったので本校校長で沖縄出身の喜屋武浩司校長先生や、同じく沖縄出身の仲前門樹先生をゲストティーチャーとして招き、沖縄の方言、伝統料理（喜屋武校長先生手作りの「沖縄そば」や「ゴーヤチャンプルー」の写真も紹介されました！）についてお話を聞いたり、「三線（さんしん）」という沖縄の楽器を実際に演奏してもらったりして、体験を通して、楽しく学びを深めることができました。

この学習ができたのは、全国から先生達が集まってくる日本人学校だからこそ、実現できた授業だったと思います。そして、それは本校の強みでもあります。

今後も体験活動等の様々な工夫を学習に取り入れ、授業改善を図っていきます。2学期も引き続き、よろしくお願い致します。